

平成20年度 全国学力・学習状況調査 島根県（公立）の結果概要

島根県教育庁義務教育課

調査の概要

(1) 調査の目的

国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査の対象学年

市町村立小学校第6学年、県立特別支援学校小学部第6学年

市町村立中学校第3学年、県立特別支援学校中学部第3学年

(3) 調査の内容

教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A]	主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B]
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能など 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容 など

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査日時

平成20年4月22日(火)

(5) 4月22日に調査を実施した学校・児童生徒数

【小学校調査】

	対象学校数	学校数(実施率)	児童数
公立学校合計	249校	248校(99.6%)	6,540人

【中学校調査】

	対象学校数	学校数(実施率)	生徒数
公立学校合計	107校	106校(99.1%)	6,752人

第一次公表について

(1) 公表の内容

今回、島根県が独自に公表するのは、以下の内容である。

全国と比較した島根県の「教科に関する調査」の結果の概要

- ・主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A] の結果の概要
- ・主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B] の結果の概要

全国と比較した島根県の「質問紙調査」の結果の概要

- ・児童生徒質問紙
- ・学校質問紙

(2) 公表の時期

平成20年8月29日(金)に、速報値を発表する。

併せて、島根県教育庁義務教育課のホームページに公表資料を掲載する。

平成20年11月を目途に詳細な分析を行い、その結果を公表する。

(3) 公表結果に関して

今回公表するのは、集計結果であり詳細な分析結果ではありません。

今回の調査で測ることができるものは、学力の特定の一部です。

教科に関する調査の結果の全体概要

(1) 国語の全体概要(平均正答率)

すべての調査において、島根県、全国ともに平均正答率が大きく下回った。

小学校国語科においては、全国(公立)の値と比べて、国語Aは2.2ポイント、国語Bは1.9ポイント下回っていた。昨年度と比較して、全国平均との差が大きかった。

中学校国語科においては、全国(公立)の値と比べて、国語Aは1.6ポイント、国語Bは2.3ポイント上回っていた。昨年度と比較して、国語A、Bともに全国平均を上回った。

(2) 算数・数学の全体概要(平均正答率)

すべての調査において、島根県、全国ともに平均正答率が大きく下回った。

小学校算数科においては、全国(公立)の値と比べて、算数Aは1.6ポイント、算数Bは1.7ポイント下回っていた。昨年度と比較して、全国との差が大きかった。

中学校数学科においては、数学Aは全国(公立)の値を1.0ポイント下回っていたが、数学Bは全国(公立)の値を1.4ポイント上回っていた。昨年度と比較して、数学Bについて、全国平均を上回った。

平成20年度全国学力・学習状況調査結果

()は平成19年度

小学校	調査種別	島根県	全国	県 - 全国
国語	国語A 18問	63.2 (81.1)	65.4 (81.7)	-2.2 (-0.6)
	国語B 12問	48.6 (62.0)	50.5 (62.0)	-1.9 (0)
算数	算数A 19問	70.6 (82.1)	72.2 (82.1)	-1.6 (0)
	算数B 13問	49.9 (62.9)	51.6 (63.6)	-1.7 (-0.7)

中学校	調査種別	島根県	全国	県 - 全国
国語	国語A 34問	75.2 (82.4)	73.6 (81.6)	+1.6 (+0.8)
	国語B 10問	63.1 (74.0)	60.8 (72.0)	+2.3 (+2.0)
数学	数学A 36問	62.1 (71.1)	63.1 (71.9)	-1.0 (-0.8)
	数学B 15問	50.6 (61.2)	49.2 (60.6)	+1.4 (+0.6)

【小学校 国語A】

1 結果の概要

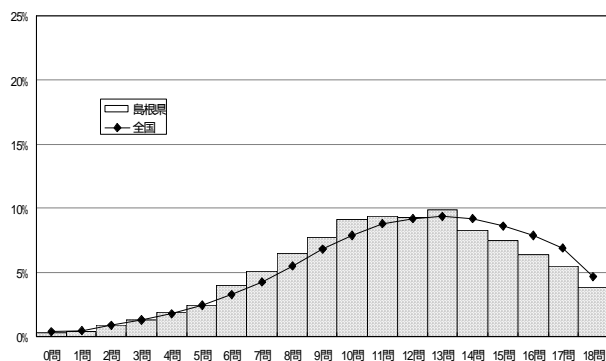
平均正答率が63.2%であり、今回出題された学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られる。特に「書くこと」「読むこと」に関する設問において、全国の正答率を下回るものが多かった。

漢字の読みやスピーチの組み立ての工夫をとらえることは多くの児童ができていたが、目的や課題に即してグラフから分かったことをメモに取ることや、目的や意図に応じて段落の内容をとらえること、文脈の中での言葉の意味を考えることなどに課題が見られた。

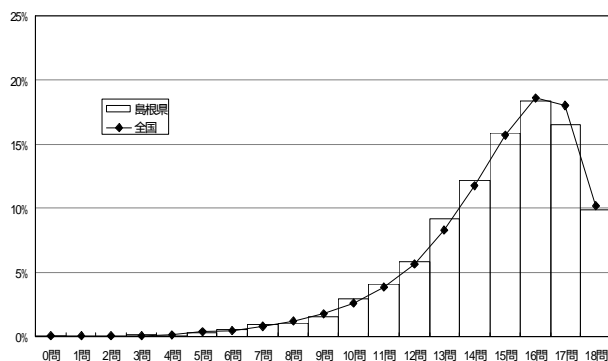
2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、右よりの単峰分布の形状となっている。全国とほぼ同様の分布状況である。昨年度に比べて、なだらかな分布になっている。

【平成20年度 国語A】



【参考】【平成19年度 国語A】



3 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	2	76.3	76.1	0.2
	書くこと	4	50.7	53.3	-2.6
	読むこと	2	37.7	44.5	-6.8
	言語事項	15	62.7	65.2	-2.5

「話すこと・聞くこと」では、「スピーチの組み立ての工夫をとらえる問題」の正答率が78.9%であり、全国の値を0.7ポイント上回った。〔A5〕

「言語事項」では、「漢字の読みの問題」において相当数の児童ができており、定着が見られた。

〔A1-(1)98.3%(0.2)、A1-(2)89.6%(0.5)〕

「書くこと」では、「グラフから分かったことをメモに取る問題」の正答率が44.0%であり、全国の値と比べて3.5ポイント下回った。〔A7〕

「読むこと」では、「文章中の表現について言い換えた部分を抜き出す問題」の正答率が32.9%、「筆者が伝えなかったこととして適切な内容を選択する問題」の正答率が42.5%であり、全国の値と比べてそれぞれ7.7ポイント、6.0ポイント下回った。〔A9一、A9二〕

「言語事項」では、「文脈における意味を考えながら、同音異義を使い分ける問題」の正答率が32.4%と60.1%であり、全国の値と比べてそれぞれ4.4ポイント、4.7ポイント下回った。〔A2-(1)ウ、A2-(2)〕

【小学校 国語B】

1 結果の概要

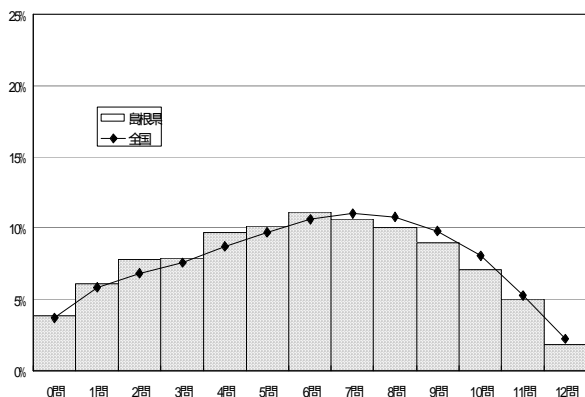
平均正答率が48.6%であり、今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。特に「書くこと」「読むこと」に関する設問において、全国の前年を下回るものが多かった。

話し手の意図を考え、反応を示したり、内容を深めたりして聞くことは多くの児童ができているが、二つの意見文を比べて読み、文章の組み立ての違いをとらえること、二つの物語文の冒頭部分における登場人物の特徴をとらえること、グラフやポスターなどの文章以外の資料から必要な情報を読み取ることなどに課題がある。

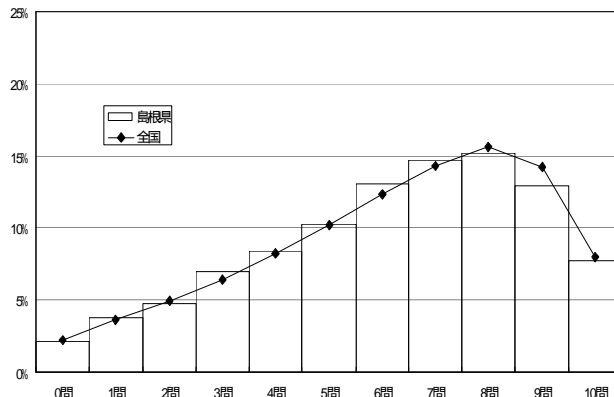
2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、右よりの単峰分布の形状となっている。全国とほぼ同様の分布状況である。昨年度に比べて、なだらかな分布となっている。

[平成20年度 国語B]



【参考】[平成19年度 国語B]



3 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	2	72.7	73.0	-0.3
	書くこと	8	47.5	49.1	-1.6
	読むこと	8	45.6	48.3	-2.7
	言語事項	0			

「話すこと・聞くこと」では、「話し手の意図を考え、反応を示したり、内容を深めたりして聞く問題」の正答率が70.3%であり、全国の前年を0.9ポイント上回った。〔B1二〕

「書くこと」では、『「図書館だより」の内容を案内状に書き換える問題』の正答率が29.7%、「二つの意見文を比べて読み、文章の組み立てとして適切な内容を選択する問題」の正答率が32.8%であり、全国の前年と比べてそれぞれ2.7ポイント、2.8ポイント下回った。

〔B3三(2)、B3(2)4エオカ〕

「読むこと」では、「二つの物語文の冒頭部分における登場人物の特徴をとらえる問題」、「資料から目的に応じて必要な情報を取り出し、整理する問題」の正答率が全国の前年を下回った。

〔B2ーア68.8%(-4.0)、B2ーイ48.6%(-3.6)、B3ー35.9%(-3.3)〕

【中学校 国語A】

1 結果の概要

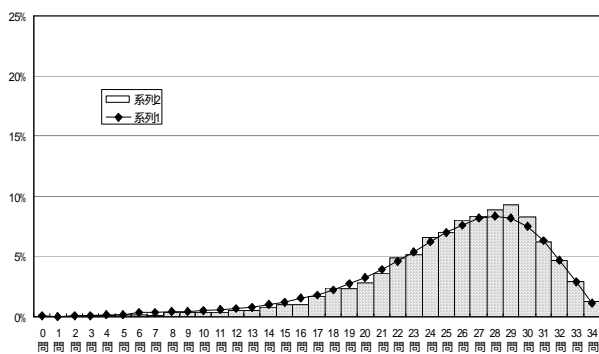
平均正答率が75.2%であり、今回出題された学習内容の知識・技能について一定の定着が見られた。

話し合いやインタビューの仕方についての理解、論理の展開の仕方に即して内容を読み取ることについては一定の定着が見られた。しかし、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことなどについては全国の下回っていた。

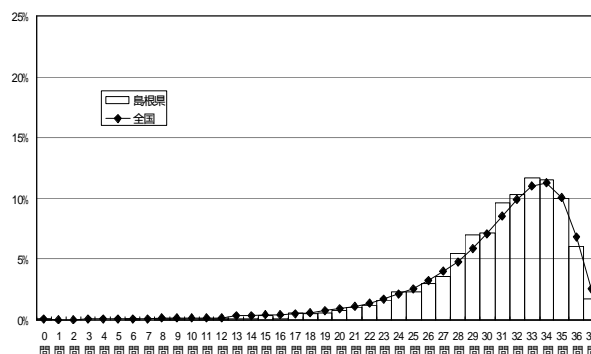
2 正答数分布状況

生徒の正答数の分布は、右よりの単峰の形状となっている。全国と同様の分布状況である。昨年度に比べて、なだらかな分布となっている。

[平成20年度 国語A]



【参考】[平成19年度 国語A]



3 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	5	82.8	80.1	2.7
	書くこと	2	56.8	55.2	1.6
	読むこと	9	73.0	71.0	2.0
	言語事項	18	76.3	75.2	1.1

「話すこと・聞くこと」では、「話し合いの一部を読み、発言の仕方の良い点の説明として適切なものを選択する問題」の正答率が65.6%、「インタビューをする際の心がけとして適切なものを選択する問題」の正答率が77.5%、「話し手の意図を理解し、インタビューの展開を考えて適切な質問をする問題」の正答率が94.1%であり、それぞれ3.9ポイント、3.1ポイント、2.8ポイント全国の値を上回った。〔A1一、A4一、A4二〕

「言語事項」では、「辞書を活用して、漢字が表している意味を正しくとらえる問題」の正答率がいずれも全国の値を上回っている。〔A6六ア75.0%(3.4)、A6六イ43.5%(5.6)〕

「読むこと」では、「論理の展開の仕方に即して、内容を読み取る問題」の正答率が62.7%であり、全国の値を4.6ポイント上回った。〔A5二〕

「言語事項」では、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う問題」の正答率が全国の値を下回った。〔A6三カ72.7%(-1.6)、A6三キ64.6%(-1.4)〕

【中学校 国語B】

1 結果の概要

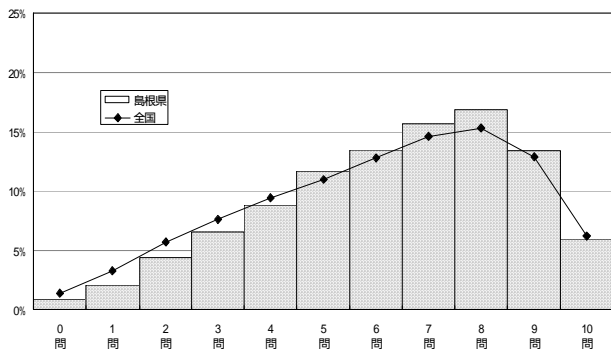
平均正答率が63.1%であり、今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力に一部課題が見られる。

登場人物の心情をとらえること、登場人物のものの見方や考え方を読み取り、条件に即して説明することについては多くの生徒ができていたが、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くこと、文章の表現の特徴をとらえることなどに課題がある。

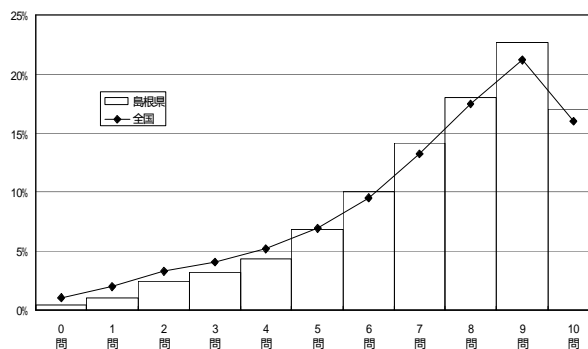
2 正答数分布状況

生徒の正答数の分布は、右よりの単峰の形状となっている。全国と同様の分布状況である。昨年度に比べて、なだらかな分布となっている。

[平成20年度 国語B]



【参考】[平成19年度 国語B]



3 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	4	49.8	46.7	3.1
	読むこと	10	63.1	60.8	2.3
	言語事項	1	64.3	60.5	3.8

「読むこと」では、「登場人物の心情をとらえる問題」の正答率が78.6%であり、全国の値を3.4ポイント上回った。〔B2二〕

「書くこと」では、「表現に注意しながら文章を読み、読み取った内容を条件に合った表現に直して書く問題」の正答率が50.6%、「登場人物が大事にしていると考えられることを四字熟語と関連づけ、80字以上120字以内で書く問題」の正答率が64.3%であり、全国の値をそれぞれ4.6ポイント、3.8ポイント上回った。〔B2三、B2四〕

「書くこと」では、「資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く問題」の正答率が、全国の値をやや上回ったものの、29.9%と低い状況であった。〔B1三〕

【小学校 算数A】

1 結果の概要

算数A（知識）について、平均正答率が70.6%であり、今回出題された学習内容の知識・技能について更に身に付けさせる必要がある。

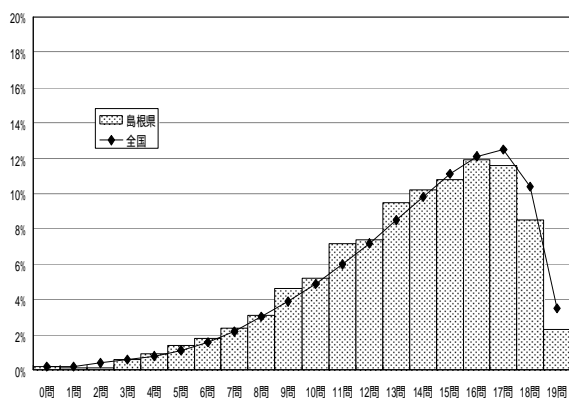
整数、小数の四則計算は相当数の児童ができていた。しかし、商を分数で表すこと、図形の定義や性質や円周率の意味を理解することなどには課題がある。

2 正答数分布状況

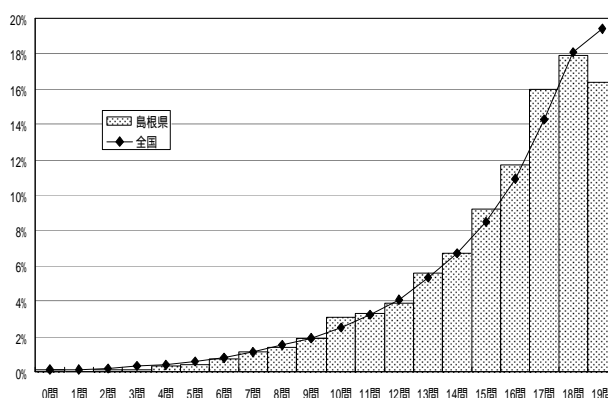
児童の正答数の分布は、右よりの単峰分布の形状になっている。

全19問中、17問以上正答した児童の割合が全国に比べて低い。

[平成20年度 算数A]



【参考】[平成19年度 算数A]



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要領 の領域	数と計算	10	75.3	76.8	-1.5
	量と測定	3	54.7	56.2	-1.5
	図形	3	69.0	72.7	-3.7
	数量関係	3	72.6	72.4	0.2

「数と計算」では、整数、小数の四則計算の問題の正答率が73.2%～93.0%であり、全国（公立）の値とほぼ同様であった。

「数と計算」では、「 $2 \div 3$ の商を分数で表す問題」の正答率が62.7%であり、全国（公立）の値と比べて11.0ポイント下回っていた。

「図形」では、「ひし形、二等辺三角形の定義や性質について理解しているかを問う問題」の正答率が71.8%であり、全国（公立）の値と比べて5.6ポイント下回っていた。

「図形」では、「円周率の意味について理解しているかを問う問題」の正答率が73.0%であり、全国（公立）の値と比べて3.8ポイント下回っていた。

【小学校 算数B】

1 結果の概要

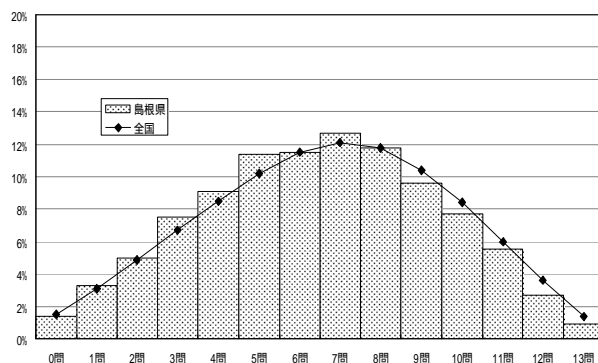
算数B(活用)について、平均正答率が49.9%であり、今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。

グラフや表などから情報を読み取ることは相当数の児童ができている。しかし、発展的に考える場面において筋道を立てて考え、何かを判断し、その理由を言葉や式を使って表現することに課題がある。

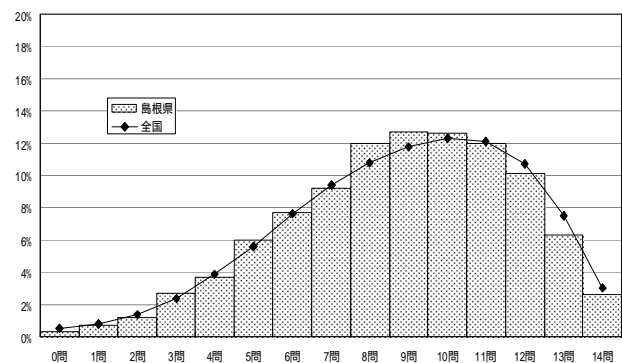
2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、全国と同様に中央値を中心としたほぼ左右対称の単峰分布の形状になっている。

[平成20年度 算数B]



【参考】[平成19年度 算数B]



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要領 の領域	数と計算	3	64.0	65.2	-1.2
	量と測定	3	50.4	53.3	-2.9
	図形	4	58.4	61.2	-2.8
	数量関係	7	43.9	44.9	-1.0

「数と計算」「数量関係」では、「グラフや表などから情報を読み取る問題」の正答率は80.7%、83.7%であり、全国(公立)の値とほぼ同様であった。

「量と測定」「図形」では、「三角形の場合を基にして長方形の場合について発展的に考える問題」の正答率が66.0%であり、全国(公立)の値と比べて3.1ポイント下回っていた。

「数量関係」では、「示された解決方法を用いて別の問題の解決方法を考える問題」の正答率が35.1%であり、全国(公立)の値と比べて3.2ポイント下回っていた。

【中学校 数学A】

1 結果の概要

数学A(知識)について、平均正答率が62.1%であり、今回出題された学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られる。

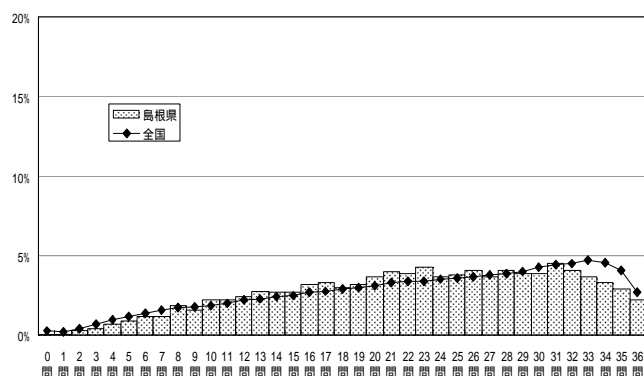
方程式を解くなどの基礎的な計算問題は相当数の生徒ができていた。しかし、比例・反比例や一次関数の意味を理解すること、関係をグラフや式で表すことなどに課題がある。

2 正答数分布状況

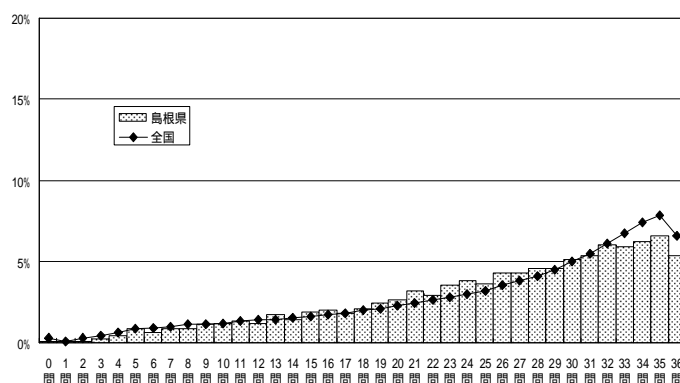
生徒の正答数の分布は、全国とほぼ同様の形状になっている。

全36問中、32問以上正答した生徒の割合が全国に比べて低い。

[平成20年度 数学A]



【参考】[平成19年度 数学A]



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要領 の領域	数と式	12	67.7	68.0	-0.3
	図形	12	62.7	62.7	0
	数量関係	12	55.8	58.6	-2.8

「数と式」では、方程式や文字式を解くなどの問題の正答率は、全国(公立)の値とほぼ同様であった。

「図形」では、「証明の意義について理解しているかを問う問題」の正答率が61.6%であり、全国(公立)の値と比べて4.0ポイント上回っていた。

「数量関係」では、「比例・反比例や一次関数の意味や関係を式やグラフに表す問題」の正答率が30.9%~56.4%であり、全国(公立)の値と比べて2.9~10.0ポイント下回っていた。

【中学校 数学B】

1 結果の概要

数学B（活用）について、平均正答率が50.6%であり、今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。

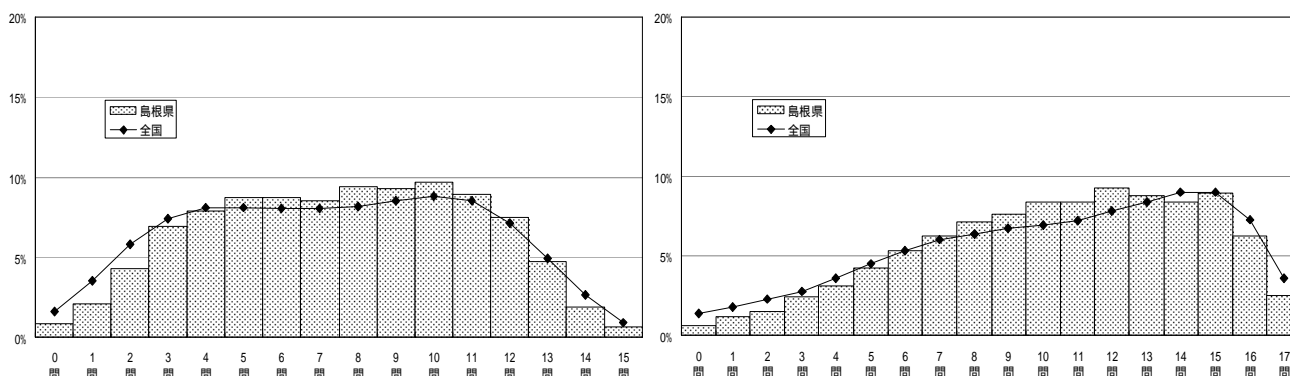
与えられた情報を分類整理する問題や解決の方法を数学的に説明する問題などの正答率は全国（公立）を上回っていた。

2 正答数分布状況

生徒の正答数の分布は、全国と同様に高原型の形状となっている。

[平成20年度 数学B]

【参考】[平成19年度 数学B]



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要領 の領域	数と式	3	53.9	54.2	-0.3
	図形	3	58.9	57.6	1.3
	数量関係	9	46.7	44.7	2.0

「数量関係」では、「5つの湖から2つの湖を選ぶ組合せの総数を求める問題」の正答率が64.9%であり、全国（公立）の値と比べて10.8ポイント上回っていた。

「数量関係」では、「釘の全体の重さが分かっているとき、釘の本数を求める方法について説明する問題」の正答率が54.3%であり、全国（公立）の値と比べて3.4ポイント上回っていた。

「数と式」では、「2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和について成り立つことを考える問題」の正答率が33.8%であり、全国（公立）の値と比べて4.7ポイント下回っていた。

〔児童生徒質問紙〕

全国との比較において、次のような特徴が見られる。

「早寝・早起き・朝ごはん」が定着してきており、基本的な生活習慣など家庭での生活に関することなどにおいて改善されていることがうかがえる。

地域の歴史や自然についての関心や行事への参加意欲が高いことから、ふるさと教育の成果が現れていることがうかがえる。

家で学校の宿題をしている児童生徒の割合は高い。また、予習・復習については十分な状況ではないが、改善の傾向が見られる。

学校の授業時間以外での勉強時間は全国に比べて短い。改善の傾向が見られる。

国語、算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合は低い。

資料（肯定的な回答をした児童・生徒の割合）

「早寝・早起き・朝ごはん」の定着

：全国の値より5ポイント以上高いもの

：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
朝6時半までに起きる割合	H20	39.8	35.5		30.4	32.7	
	H19	39.0	34.4		28.5	36.2	
夜10時までには寝る割合	H20	44.9	41.4		5.7	5.3	
	H19	44.5	42.1		6.0	5.3	
朝食を毎日食べていますか	H20	96.8	95.4		95.3	91.9	
	H19	96.7	95.2		94.9	91.6	
家の人と普段(月～金曜日)、朝食を一緒に食べていますか	H20	70.0	60.7		50.5	40.6	
	H19	69.2	60.7		50.2	40.6	
家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか	H20	91.4	88.0		87.4	80.4	
	H19	91.5	87.8		87.2	80.3	
家で食事をするときは、テレビを見ないようにしているか	H20	27.0	19.2		24.0	16.2	
	H19	29.0	22.0		25.0	18.2	

ふるさと教育との関連等

：全国の値より5ポイント以上高いもの

：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか	H20	49.4	48.2		28.1	23.5	
	H19	52.2	46.0		25.3	22.3	
今住んでいる地域の行事に参加していますか	H20	66.3	59.9		42.0	37.0	
	H19	67.6	62.0		41.0	37.5	
近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	H20	93.2	88.7		90.4	82.7	
	H19	93.3	88.6		87.4	82.4	

「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	H20	75.8	73.6		64.3	59.3	
	H19	77.8	75.3		61.4	59.9	

学校の宿題や予習・復習

：全国の数より5ポイント以上低いもの

：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
家で学校の宿題をしていますか	H20	95.5	95.2		82.9	81.4	
	H19	95.2	94.7		80.5	80.2	
家で学校の授業の予習をしていますか	H20	29.9	35.4		31.7	28.4	
	H19	26.0	32.9		31.9	29.5	
家で学校の授業の復習をしていますか	H20	43.4	43.4		35.3	39.6	
	H19	34.3	40.1		33.5	39.2	

学校の授業時間以外での勉強時間や読書時間

：全国の数より5ポイント以上低いもの

：全国の数より10ポイント以上低いもの

：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(1時間以上)	H20	48.0	56.1		45.0	65.4	
	H19	46.5	57.9		43.4	65.0	
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(1時間以上)	H20	18.2	22.7		24.9	36.7	
	H19	15.7	23.0		24.2	36.8	
家や図書館で、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(30分以上)	H20	32.0	36.8		27.5	27.9	
	H19	34.6	39.2		28.8	29.7	

国語、算数・数学の勉強が好きな児童生徒

：全国の数より5ポイント以上低いもの

：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
国語の勉強は好きですか	H20	55.3	56.1		53.9	55.2	
	H19	58.1	59.6		54.2	56.8	
算数・数学の勉強は好きですか	H20	59.5	65.4		49.4	52.8	
	H19	59.4	65.0		48.1	51.0	

〔学校質問紙〕

全国との比較において、次のような特徴が見られる。

全国学力・学習状況調査の結果を分析し、指導改善に活用した学校の割合は高い。

特別支援教育についての理解と指導の充実を図っている学校の割合は高い。

放課後や土曜日、長期休業期間を利用した補足的な学習のサポートを実施している学校の割合は高い。

国語や算数・数学の指導として補足的あるいは発展的な学習の指導を行っている学校の割合は低い傾向にある。

学校図書館の図書整備や授業での利用が、依然として低い傾向にある。

資料（肯定的な回答をした学校の割合）

学校における全国学力・学習状況調査の結果分析と指導改善への活用

：全国の値より10ポイント以上高いもの

：全国の値より5ポイント以上高いもの

：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
平成19年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか	H20	92.7	86.9		92.5	86.0	
	H19						
平成19年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか	H20	96.0	88.1		95.3	82.9	
	H19						
平成19年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか	H20	87.9	77.4		79.2	71.4	
	H19						

H19の欄に数値がない項目は、平成20年度に新しく追加された質問項目

特別支援教育についての理解と指導の充実

：全国の値より5ポイント以上高いもの

：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
学校の教員は、特別支援教育について理解し、子どもの特性に応じた指導ができていますか	H20	96.4	91.7		92.4	84.9	
	H19	92.6	86.0		81.5	76.6	
学校全体として特別支援教育の校内支援体制が機能していますか	H20	93.1	88.7		85.0	79.1	
	H19	89.4	82.1		72.2	70.0	

放課後や土曜日，長期休業期間を利用した補足的な学習のサポートの実施

：全国の値より10ポイント以上高いもの ：全国の値より5ポイント以上高いもの
 ：全国の値より5ポイント以上低いもの ：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
放課後を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	H20	70.6	41.9		63.2	57.2	
	H19	59.1	40.9		60.2	55.4	
土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	H20	4.8	1.7		11.3	3.4	
	H19	1.6	2.1		8.3	3.3	
長期休業期間を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	H20	63.7	50.0		68.9	77.0	
	H19	56.3	47.8		67.6	75.0	

国語，算数・数学の指導としての補足的あるいは発展的な学習の指導

：全国の値より5ポイント以上低いもの ：全国の値より10ポイント以上低いもの
 ：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
国語の指導として，補足的な学習の指導を行いましたか	H20	65.7	71.7		64.2	74.5	
	H19	62.2	65.0		69.5	70.1	
国語の指導として，発展的な学習の指導を行いましたか	H20	28.2	37.7		47.2	48.6	
	H19	32.3	33.4		35.2	46.5	
算数（数学）の指導として，補足的な学習の指導を行いましたか	H20	88.3	90.0		83.9	88.8	
	H19	86.3	87.8		79.6	86.7	
算数（数学）の指導として，発展的な学習の指導を行いましたか	H20	41.9	57.8		43.4	59.1	
	H19	48.5	58.3		49.1	59.7	

学校図書館の図書整備や授業での利用

：全国の値より5ポイント以上低いもの ：全国の値より10ポイント以上低いもの
 ：昨年度を上回ったもの

		小学校			中学校		
		島根県	全国	比較	島根県	全国	比較
学校図書館図書標準が達成されていますか。	H20	22.6	47.9		18.9	42.3	
	H19	22.1	46.4		25.0	41.7	
学校図書館を活用した授業を計画的に行っていますか。	H20	46.8	67.3		28.3	39.7	
	H19	34.7	59.9		31.5	38.3	